



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

発行：日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
幹事会

〒144-0043
東京都大田区羽田5-11-4
フェニックスビル
TEL.03-5705-2770
FAX.03-5705-3274
E-mail:office30@alpajapan.org

www.alpajapan.org

Date 2009.06.16

No. 32 - 61

AIR NEXT 勤務協定案提示 内容は ANK 勤務協定からの切り下げ ANA グループ内での安全・労働条件格差が更に露呈

エアーネクスト (NXA) 経営は春闘での回答に基づき、6月3日に勤務協定案を提示してきました。主な内容はエアーニッポン (ANK) の勤務協定のコピーですが、休日やインターバル、飛行時間の制限など様々な項目において労働条件格差が盛り込まれています。NXA 経営は「イレギュラーにも柔軟に対応できる、生産性の高いものを目指したい」と謳っていますが、単なる労働強化に過ぎません。同じグループ内で同一機種を運航している会社間に、安全格差・労働条件格差が存在することを、エアーネクスト乗員組合 (NPU) としては看過出来ません。まして NXA 経営は、同一機種で着陸回数や飛行時間の制限が異なることについて、「違いがあることは認めるが安全格差につながるとは思っていない」と言い、疲労の蓄積が不安全要素であるという事実を認めようとしません。

グループ内で安全格差が拡大するような事態は決して容認できるものではありません。まして親会社と比較して低労働条件に抑えられている理由を機種のサイズに絡めて「生産性の違いによる」としてきた経営が、今回については「生産性を高めた勤務協定を目指す」というのでは筋が通りません。その生産性に見合うだけの労働対価を求める必要があります。

NXA 経営は 2010 年 4 月を目途に勤務協定を締結したいと言っていますが、今後更に論議を重ねて改善していく必要があります。また、「運航乗務員の労働時間管理に係る考え方」を今年度上期中に提示するとしていますので、合わせて協議を進めていきます。

以下に今回提案された NXA 勤務協定案と、ANK 勤務協定の主な差異を例示します。

	NXA 勤務協定案	ANK 勤務協定
休日	1 日の休日：1 暦日を含む 32 時間以上 連続 2 日の休日：2 暦日を含む 54 時間以上 連続 3 日以上の日：24 時間×休日数	1 日の休日：24 時間+12 時間以上 連続 2 日以上の日：24 時間×休日数 +8 時間以上
インターバル	勤務割作成上 12 時間以上を予定。 10 時間を確保する。	主基地 14 時間以上、主基地以外 12 時間以上を予定。12 時間を確保する。
着陸回数	6 回	5 回 6 回
飛行時間	7 時間	7 時間 6 時間
勤務時間	12 時間	11 時間 10 時間
勤務の中断	休養施設で連続 3 時間以上の休養を行った場合、その時間は勤務時間とみなさない。ただし、本項の運用に当たってはイレギュラー時に限るものとする。	該当なし。

